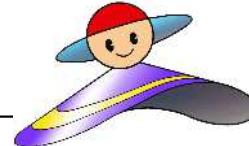


京都市青少年科学センターの取組概要



参考資料

● 概況

- ・ 1969年5月、「『科学者精神』を体得した将来の市民の育成」を目的として現在地に設立。前身は、戦後に科学教育振興の先駆けとして大きな役割を果たした「科学教室」（1951年設置）。
- ・ 2025年3月、博物館法に定められる博物館に登録（1979年、博物館に相当する施設に指定）。
- ・ 子どもたちの理科教育や市民の生涯学習の振興に向け、多くの大学や企業団体等との連携・協働、御支援を賜りながら、「センター学習」や「教員研修・学校等支援」、「市民科学事業」など、様々な取組を推進。
- ・ 展示場の一般入館者数は年間で約14万人（その他、センター学習等での来館者あり）。

[所在地：京都市伏見区深草池ノ内町13]



[地下鉄竹田駅から東へ約1km、京阪本線藤森駅から西へ約400m]

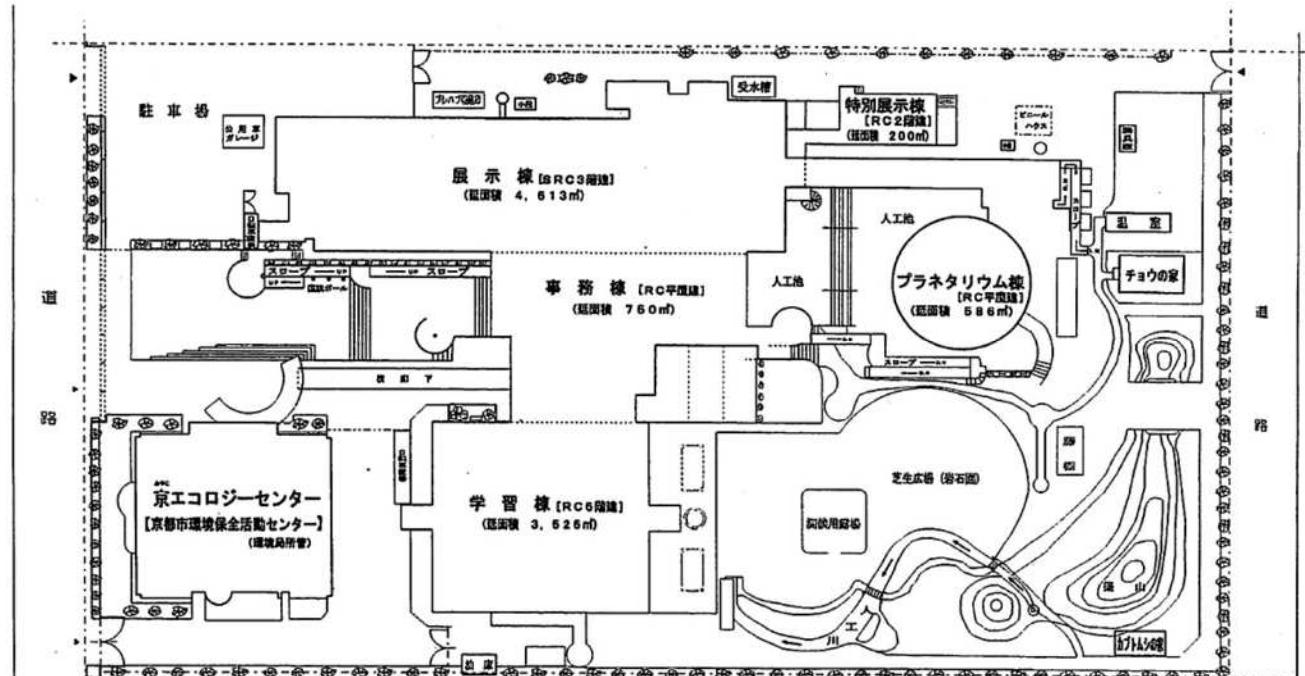


● 施設について

- 用途地域 第1種住居専用地域、容積率200%、建蔽率60%、高度地区20m第2種高度地区
- 敷地面積17,408m²、延床面積9,674m²（鉄筋コンクリート造地上3階）、屋外園5,200m²
- 1969年竣工。指定都市の科学館15館の中では一番古い施設（設備）。目標耐用年数は80年。

<建物等の主な内容>

- 学習棟 3,525m²
実験室、天文台など
- 展示棟 4,813m²
展示スペース(2,030m²)など
- プラネタリウム棟 586m²
- 事務棟 750m²
- 屋外園 5,200m²
チョウの家、カブトムシ飼育所等



Floor Map



各展示品の
紹介はごちら

→ スロープ

第2展示場(3階)

- ①元素のつくる世界
- ②実物元素周期表
- ③結晶の世界
- ④水の波の性質
- ⑤ストロボと測定
- ⑥みらい地球儀
- ⑦太陽の動き
- ⑧地軸の傾き
- ⑨地球の公転
- ⑩蛍光・放射性鉱物
- ⑪美しい炎の世界 -炎色反応-
- ⑫カラフル光ラボ
- ⑬色で見る酸とアルカリ
- ⑭2進法による数あて
- ⑮しようとつラボ
- ⑯秒の世界 -ふりこと時間-
- ⑰推理ボックス
- ⑯砂振り子
- ⑯光の池
- ⑲投げた物体の運動
- ⑳落体の実験
- ㉑できた!竜巻
- ㉒気象コーナー
- ㉔ランフォーリンクス
- ㉕ブテラノドン
- ㉖パラボラ型空中電話器
- ㉗くもダス
- ㉘西山丘陵の地層
- ㉙深草谷口町の地層
- ㉚ジオエリアKYOTO
～京都の地質を感じよう～
- ㉛電磁石パワーボール
- ㉜音であそぼう
- ㉝メロディーパイプ
- ㉞ふしぎなシーソー
- ㉟フレネルレンズ
- ㉟滑車のはたらき
- ㉟空気がうすくなっていくと
- ㉟NKS磁石
- ㉟京都の企業展ブース
- ㉟トムソンリング
- ㉟電気と磁気のワンダーランド
- ㉟気候と環境体験ルーム
- ㉟ドローンラボ～飛行のヒミツをさぐる～
- ㉟マグマからできた岩石

第1展示場(2階)

- ①生きている化石オキナエビス
- ②世界の昆虫
- ③京都ゆかりのノーベル賞
- ④ふしぎを見つける宇宙の旅
- ⑤さかさ鏡
- ⑥曲面鏡
- ⑦波面鏡
- ⑧パタノスコープ
- ⑨人間万華鏡
- ⑩ボールコースター
- ⑪地震をさぐる
- ⑫振り子は語る-地球の自転-
- ⑬フーコーの振り子
- ⑭花折断層
- ⑮化石トンネル
- ⑯魚竜
- ⑰アロサウルス頭骨化石
- ⑱プロトケラトプス
- ⑲ティラノサウルス
- ㉐タルボサウルス
- ㉑サウロロフス
- ㉒アジアゾウ
- ㉓デスマスチルス
- ㉔マチカネワニ
- ㉕鴨川のいきもの
- ㉖いきもの研究室
- ㉗テレビ顕微鏡
- ㉘水中の微小生物
- ㉙磯の環境-「海の中の生命」
- ㉚潮間帯の生物
- ㉛貝・甲殻類標本
- ㉜心臓のはたらき
- ㉝肺のふしぎ
- ㉞心臓からの信号
- ㉟映像コーナー
- ㉟チョウのふしぎ
- ㉟むしむしワールド
- ㉟惑星の運動
- ㉟地震計室
- ㉟京都府レッドデータブックの生物標本

3F



親子ふれあいサイエンスルーム

小学校就学前の乳幼児と保護者の皆さん、科学を体感できる遊具を通して親子で触れ合う場です（小学生や団体での入室はご遠慮ください）。

- ①バブルタワー
- ②落書きコーナー
- ③光の池
- ④浮き玉
- ⑤不思議な鏡
- ⑥くるくる機関車
- ⑦シャボン玉を作ろう!



1 F



子ども用
トイレ

事務室
(カブトムシサポートをご希望の方はごちらへ)

地震計室
(39)

映写講義室
サイエンスライブ
会場

授乳室
(1)

2Fへ
エレベーター

3Fへ
エレベーター

展示場入口
(2階)

非常口

図書コーナー

休憩ホール

屋外園出口

屋外園

見晴らし台

チョウの家

飲食可能
エリア
(休憩ホール、
団体ホール、屋外)

給水
スペース
(食事は不可)

四季折々の植物が観察できる岩石庭園です。時には野鳥や小魚を発見することも。全国から集められた岩石や化石も見どころ。昼食スポットとしてもオススメです。「チョウの家」では年間を通じて沖縄のチョウを観察できます。

①太陽光発電

②日時計

③百葉箱

④屋外園の岩石

⑤屋外園の植物

⑥チョウの家

⑦光のリズム

● 主な事業について

主な事業	内容
センター学習	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園、保育所、小学校、中学校、高校、総合支援学校段階の子どもが、学校教育活動の一環として来館し、独自の教材やプログラムを用いて実施する観察実験学習。 [小学校6年生は全校参加]
教員研修・学校等支援	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校教員等を対象とし、観察実験の基本的な実技や効果的で安全な指導法など、年間20種類以上のメニューで研修を実施。 観察実験の補助等を行うスタッフの派遣や指導等に関するアドバイス、教材貸出など、理科教育の充実に向けた学校への支援を実施。
市民科学事業	<ul style="list-style-type: none"> 市民の科学に対する興味関心を高めるため、展示場やプラネタリウムの公開、市民向けの各種講座を実施

一般入館者数等の推移

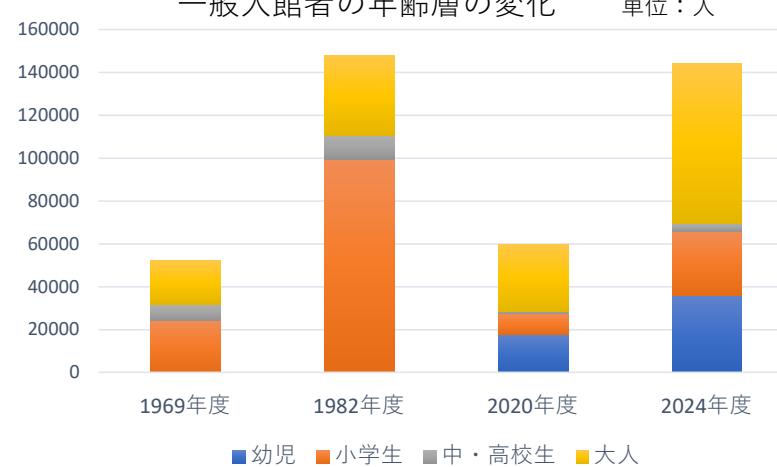
単位：人

年度	1969	1982	2018	2020	2024
展示場一般入館者数	51,957	147,999	133,304	59,453	144,305
内訳	幼児	-	34,981	17,598	36,101
	小学生	24,321	99,326	33,680	9,852
	中・高校生	7,436	11,398	3,318	1,141
	大人	20,200	37,275	61,325	30,862
	(親子ふれあいSR)	-	(28,744)	(12,980)	(34,628)
<参考>					
プラネタリウム観覧者	39,606	115,667	66,707	16,536	70,314
センター学習	70,139	84,966	31,895	44	25,043

※ 親子ふれあいSR（サイエンスルーム）：乳幼児と保護者が、科学的な遊具や本などにふれあい、科学の不思議や面白さを体験する場。（2012年度に開設）

一般入館者の年齢層の変化

単位：人



● 特色ある取組について

- 多様な企業団体等との連携・協働により、事業の対象は、サイエンスを基軸に、伝統産業や芸術など他の分野を包摂するものへと広がっています。

○ STEAM LAB.

- 騎手クリストフ・ルメール氏とのトークセッション
(生物×生き方探究)
- バレンタイン プラネタリウムコンサート
(京都市交響楽団×星空)
- いけばなパフォーマンス in プラネタリウム
(伝統文化×星空)

青少年科学センター
STEAM LAB.



○ おとのセンター学習

- 日本酒の科学～酵母の不思議～

「伝統的酒造り」のユネスコ無形文化遺産登録を契機に企画。
京都酵母を開発した京都市産業技術研究所と連携。
アルコールの性質に関する実験を通じて酵母の働きを学ぶ。



京コマ職人が講師。
コマが回る物理法則を学びつつ
京コマを製作。

○ 科学×京都の伝統産業×伝統工芸

- 金箔、和ろうそく、京コマ

● 多様な主体との主な連携・協働について

連携手法	連携主体・内容
包括連携協定	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>(株)村田製作所「STEAM教育を通じて次世代を育成するパートナー」【2023年度から10年間】</u> ⇒ 展示場や体験事業等の充実支援。毎年1千万円、合計1億円の寄付。 ・ <u>武田薬品工業(株)京都薬用植物園 「教育活動の推進」【2024年度から3年間】</u> ⇒ 屋外園整備や教員研修の充実支援。 ・ <u>京都市動物園、京都府立植物園、京都水族館「きょうと☆いのちかがやく博物館」【2014年度～】</u> ⇒ 連携イベントの実施。
体験講座	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>未来のサイエンティスト養成事業「体験コース」における協力企業・団体【2024年度実績】</u> 大阪ガスネットワーク(株)、京都大学大学院医学研究科ゲノム医療学講座、京都大学iPS細胞研究所、(株)サイフューズ、テラスエナジー(株)、さすてな京都、(株)島津製作所、清水長金属工業(株)、ナカライトスク(株)、ニデック(株)、(株)村田製作所、京都市衛生環境研究所、京都市上下水道局
企業特別展	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>企業特別展における協力企業【2013～2024年度実績】</u> ニチコン(株)、京セラ(株)、オムロン(株)、ローム(株)、(株)堀場製作所、三洋化成工業(株)、タキイ種苗(株)、(株)SCREENホールディングス、(株)村田製作所
協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>京都市科学系博物館等連絡協議会【26団体が加盟】</u> ⇒ 青少年科学センターが事務局となり、毎年、サイエンスフェスティバル等を開催
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>標本研究における連携</u> 大阪市立自然史博物館、滋賀県立琵琶湖博物館

● 未来のサイエンティスト養成事業

※募集チラシの一部を抽出して掲載



未来のサイエンティスト 大募集!!

令和7年度

理科・科学好きな小中学生が、将来、自然科学分野を目指す際に役立つ基礎を身につけることを目的に実施している、未来のサイエンティスト養成事業の参加者を募集します！

 **探究コース**

定員10名程度

青少年科学センター所員や大学・企業等の専門家の助言を受けながら、自分の関心のあるテーマを研究し、2月に開催する発表会で他の会員や保護者の前で研究成果を発表します。

さらに、8月に募集の「京都サイエンスコンテスト」に研究を出展し、日本学生科学賞や全国児童才能開発コンテストなどの全国のコンテストの入賞を目指すなど、研究を深めましょう。

対象：京都市内在住又は市内の学校に通学する**小学5年生～中学3年生**の児童・生徒

選考：申込内容をもとに選考します。

結果通知：結果通知は応募者全員に書面にて御連絡します。発送は6月下旬予定。
(事業説明会を7月6日(日)に予定していますので会員になられた方は御参加ください。)

応募期限：令和7年6月12日(木)まで

その他：応募方法は裏面を御確認ください。

 **体験コース**

定員200名程度

企業等による独自の技術を活かした実験教室に参加し、学校では体験できない科学の不思議さや面白さを実感して自分の研究テーマを探しましょう。

対象：京都市内在住又は市内の学校に通学する**小学4年生～中学3年生**の児童・生徒

抽選：申し込みがそれぞれの講座の定員を超える場合は、抽選にて参加者を決定します。

結果通知：結果通知は応募者全員に書面にて御連絡します（7月上旬予定）。

応募期限：令和7年6月22日(日)まで

その他：実施内容や応募方法は裏面を御確認ください。

※ 11月以降に秋冬講座を実施予定です。
秋冬講座の詳細が決定次第、体験コースにお申込みいただきました方に御案内します。

実施日	テーマ (実施者)	時間	対象	実施場所	定員
7月22日 (火)	研究者ってどんなことをしているの? ～実験スタンプラリーに挑戦～ (ナカライトスク校)	10:00～12:00 14:00～16:00	小学生	科学センター	16名
	モーターと地球環境～わたしたちができること～ (ニデック株)	13:30～15:30			16名
	自分だけの蚊取り線香を作ろう～蚊の不思議に迫る～ (京都市衛生環境研究所)	13:30～16:30	小学生	京都市衛生環境研究所	40名
7月23日 (水)	燃焼のふしき (大阪ガスネットワーク株)	10:00～11:15 13:30～14:45	小学生	科学センター	20名
	環境科学教室～私たちの生活を科学の目で見直そう！～ (京都市衛生環境研究所)	13:30～15:00			20名
7月24日 (木)	私たちと自然をつなぐ物質のめぐりを学ぶ (総合地球環境学研究所)	10:00～12:30	小・中学生	総合地球環境学研究所	20名
	下水処理の仕組みを学ぼう (京都市上下水道局 水質管理センター 水質第2課)	10:30～11:30	小学生		15名
	電気エネルギーを考えよう (株村田製作所)	10:30～12:00 14:00～15:30	小学生	科学センター	40名
	水道水ができるまでのしくみ (京都市上下水道局 水質管理センター 水質第1課)	14:00～15:30			40名
7月25日 (金)	どきどきめっき体験 (清水長金属工業株)	10:00～12:00	小学生	科学センター	20名
	島津ぶんせき体験スクール (分光コース) (株)島津製作所	9:30～12:00 13:30～16:00	小学生 中学生	島津製作所	10名 10名
	「発酵」でつながる「生きものサイクル」 ～自然のチカラとヒトの技術～ (武田薬品工業株)京都薬用植物園・さくてな京都)	10:30～12:00 13:30～15:00	小学生	さくてな京都	36名 36名
7月26日 (土)	「未来×エネルギー発明家体験」 さくてな京都で未来のエネルギーを探そう！ (株)ユーラスエナジーホールディングス・さくてな京都)	9:30～12:30	小学生	さくてな京都	24名

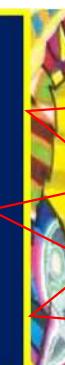
● 青少年と科学の祭典

※募集チラシの一部を抽出して掲載



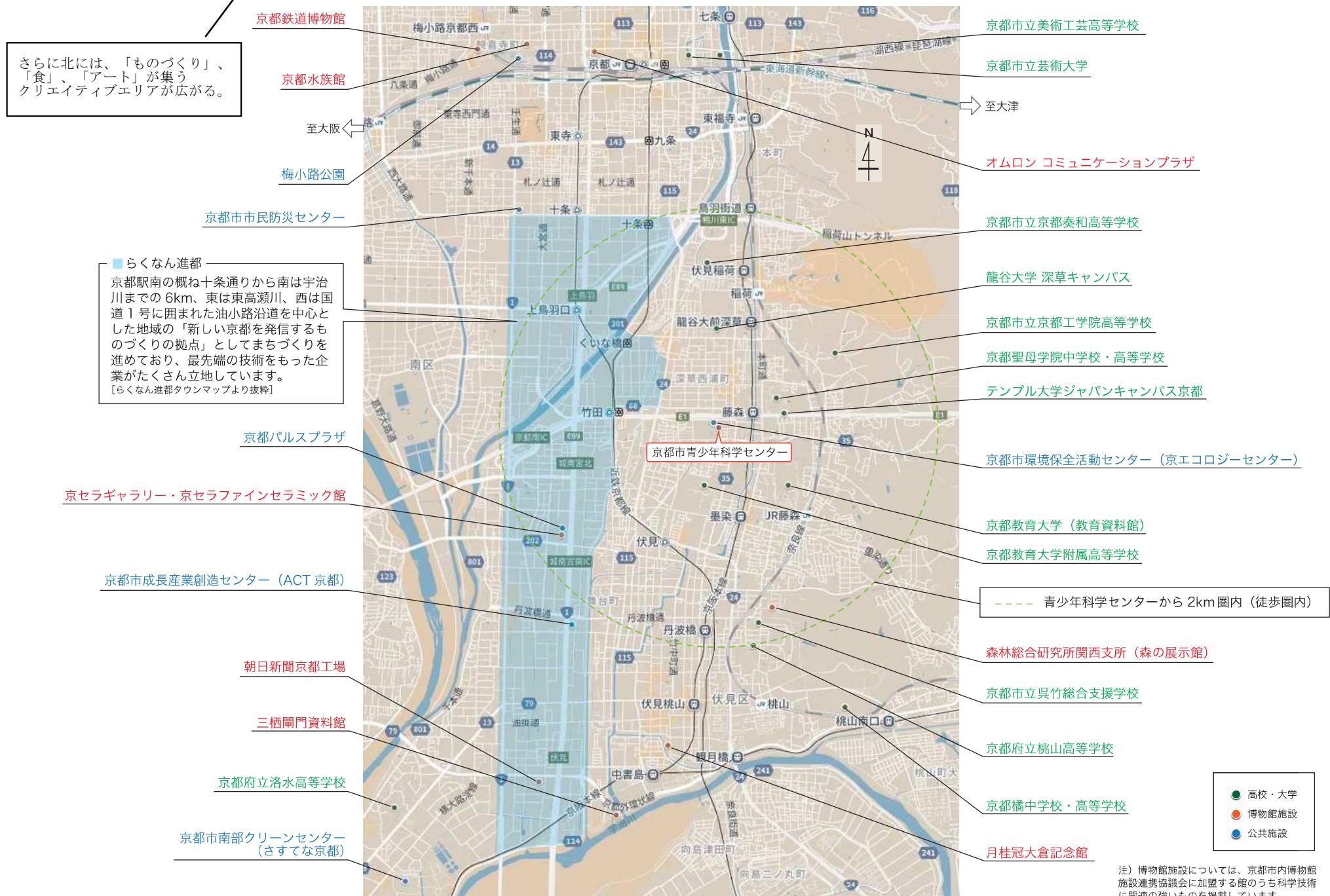
主 催	「青少年のための科学の祭典」京都大会実行委員会
共 催	公益財団法人日本科学技術振興財団／青少年と科学の会
後 援	文部科学省／京都府教育委員会／京都市教育委員会／公益財団法人京都市環境保全活動推進協会 京エコロジーセンター／日本物理教育学会近畿支部／京都理科研究会／京都市立中学校教育研究会理科部／京都市立高等学校理科研究会／京都府小学校教育研究会理科部会／京都府中学校教育研究会理科研究部会／京都理化学会／京都府私立中学高等学校理科研究会／京都府生物教育会／京都地学教育研究会／全国科学館連携協議会／全国科学博物館協議会／NHK／日本物理教育学会／(一社)日本生物教育学会／日本地学教育学会／日本基礎化学教育学会／(一社)日本科学教育学会／(一社)日本理科教育学会／(一社)日本地質学会／(一社)日本生物物理学会／一般社団法人日本物理学会／(公社)応用物理学学会／公益社団法人日本化学会／(一社)日本機械学会／(公社)日本アイソトープ協会／(一財)日本私学教育研究所／(公社)日本植物学会／(公社)日本動物学会／(公社)日本天文学会／(公社)日本工学会／(一社)電気学会／日本エネルギー環境教育学会／KBS 京都／エフエム京都／京都リビングエフエム／京都新聞／朝日新聞京都総局／産経新聞社京都総局／毎日新聞京都支局／読売新聞京都総局／京都リビング新聞社／(順不同)
協 賛	英興(株)／京都科学機器協会／京都電子工業(株)／三和化工(株)／(株)島津製作所／(株)堀場製作所／村田機械(株)／(株)G S ユアサ

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| 科学センター 学習棟会場 Gエリア | 科学センター あおぞらテッキ会場 |
| 1 3ステップでカラフルスライムをつくろう！ | 35 かならずもどるブーメラン飛行機！ |
| 2 水の電気分解といいろいろな電池 | 36 風船ロケットを飛ばそう |
| 3 チタンに色をつけよう？！ | 37 ペットボトルロケットを飛ばそう！ |
| 4 ロボットで遊ぼう!!! | 京エコロジーセンター会場 ECエリア |
| 5 いろいろいろいろ2025 ~いろはんのふしづ~ | 38 ソーラークワガタでサッカーゲーム2025 |
| 6 燃料電池をつくりましょう | 39 科学工作と科学実験装置を体験してみよう！ |
| 7 水の中で絵が動く | 40 プログラミング教室 |
| 8 ティララちゃんのキーホルダーブル | 41 1枚で2度ふしづなカード！？ |
| 9 マグネットローブのひみつ | 42 風倒木ブロック体験 |
| 10 火山灰から“宝石”を探そう | 科学センター展示場会場 QKエリア |
| 11 ミツバチの巣からろうそくを作ろう | 43 「はかる」と「わかる」～はかる装置を体験しよう～ |
| 12 チリモン図鑑を作ろう！ | 44 透明に変わる！ライトが光る！水の不思議な実験 |
| 13 紫外線で光るかな？ | 45 風車を作つてみよう |
| 14 光る！動く！ワクワク科学チャレンジ | 46 地球環境カードゲーム「マイアース」体験会 |
| 15 CD盤でベンハムの独楽を作ろう | 47 どんな溶液が電気を通すのか？ |
| 16 光る石をさがせ！ | 科学センター展示場会場 IKエリア |
| 17 スポンジの不思議 | 48 電気をつかつてみよう～LEDマジック実験～ |
| 18 マイコンでLEDをいろいろな色に光らせてみよう | 49 さがしてみよう微小貝～小さな貝の世界～ |
| 19 かんたん！カラフル火山の大噴火 | 50 つかめる水を作ろう！ |
| 20 バスピュームを作ろう！ | 51 見えないものを見てみよう～顕微鏡で見るミクロの世界～ |
| 21 ゆらゆらループ どっちがゆれる？ | サイエンスライブステージ 交流のひろば |
| 22 うずまきのコマを作ろう！ | |



青少年科学センター、
京エコロジーセンターに
60の体験ブースが集結！
2日間で約5,300名が
来場されました！

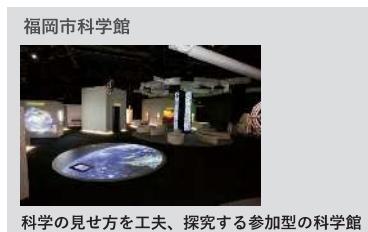
● 京都市青少年科学センター付近の施設情報（主な高校・大学／公共施設／博物館施設）



参考資料

【重点的な取り組み】

参加・活動型



【主なテーマ】

原理原則
自然科学



最新技術



展示・学習型

※本検討会議事務局の見解・解釈に基づいています。